

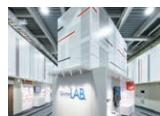
日立機械室レスロープ式荷物用エレベーター

積載質量

600～2000kg

HITACHI
Inspire the Next

f r e i g h t e l e v a t o r



SolutionLAB.
日立ビルソリューションラボ

見つけてください、未来へのヒント

〒120-0002 東京都足立区中川四丁目16番29号
ご来館を希望される方は、当社営業担当者にお問い合わせください。



あなたを思いやること、心地よくすること

HUMAN FRIENDLY

私たちがめざすのは、そこに住まい、働き、訪れるすべての人々のために、
ビルを安心して心地よい設備やサービスで満たし、街全体を心地よくすること
いつもあなたを思い、あなたに寄り添っていたい

HUMAN FRIENDLYは、私たちの思いをのせた開発コンセプトです

 **株式会社日立ビルシステム**

本 社 〒101-8941 東京都千代田区神田淡路町二丁目101番地（ワテラストワー）
URL: <https://www.hbs.co.jp>
 0120-7838-99（カスタマーサポートセンター）

お問い合わせは…

●このカタログに掲載した内容は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

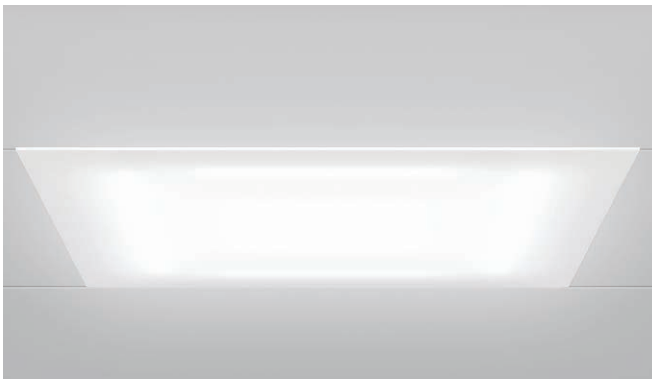


本カタログは環境に配慮し、
植物油インキを使用しています。

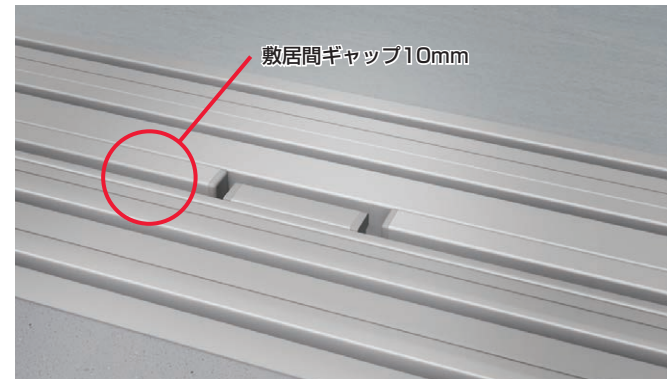
RE-593P 2025-02

LED照明と荷物の積み下ろし時にも 安心な敷居間ギャップ10mmを採用。

LED照明（基本仕様）



敷居間ギャップ10mm（標準装備仕様）



※ 荷役質量500kg以上の場合は、敷居間ギャップが30mmとなることがあります。

設置計画の際には、お気軽にご相談ください。 経験豊かな当社エンジニアがお手伝いします。

計画に際して

■荷物の積み下ろし

積載質量が2000kg以下の荷物用エレベーターは、フォークリフトの乗り込みには対応していません。また、一度に重い荷物を積み込むと、かご床が変形するなどの故障の原因となるため、重い積荷は数回に分けて積み込んでください。1回に積み込める荷物は500kgまで*です。（台車含む。ただし、積載質量600kg機種は1回に300kgまで）

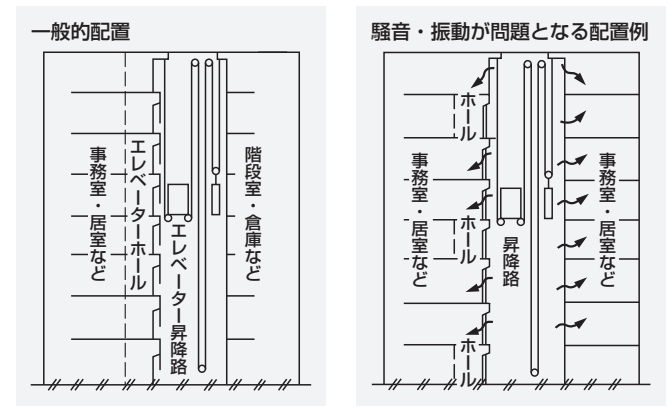
* 500kgを超える場合には、「荷役特殊対応」となります。

■昇降路の配置

エレベーター走行音などが昇降路周辺区画に伝わる場合があります。昇降路の周囲には事務室・居室などを配置しないよう計画してください。

■搭乗者に関する規制

荷物用エレベーターには荷物の運搬を目的とした専任の運転者、または荷扱者が搭乗することのみ許可されています。従って、建物内に事務室などがある場合は人荷用エレベーターとするか、あるいは乗用エレベーターを併設するなどの行政指導が行われます。



機種選定のポイント

■かご寸法と積載質量

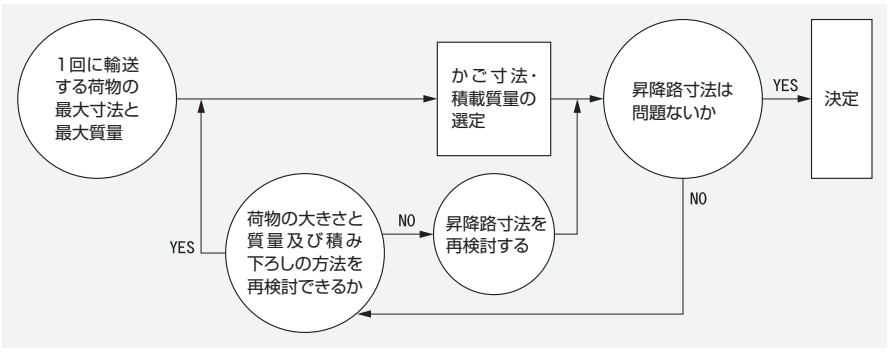
積み込む荷物の大きさと重量およびエレベーターへの積み下ろしの方法に応じて選定します。

■速度

輸送量、荷物の積み下ろし時間を考慮して速度を選択します。

■戸型式

戸は全機種で電動戸を使用しています。



豊富なラインアップの中から 用途に応じて最適な機種をお選びいただけます。

機種一覧

型 式	積載質量 (kg)	定格速度 (m/min)	戸型式	かご内法(mm)		出入口(mm)	
				間 口	奥行き	幅	高 さ
OUF-600 -2S45	600	45	2枚戸片開き	1300	1750	1100	2100
OUF-600 -2S60		60					
OUF-750 -2S45	750	45		1300	2300	1100	
OUF-750 -2S60		60					
OUF-1000 -2S45	1000	45		1700	2300	1400	
OUF-1000 -2S60		60					
OUF-1500 -2S45	1500	45		2200	2400	1700	
OUF-1500 -2S60		60					
OUF-2000 -2S45	2000	45		2200	2800	1700	
OUF-2000 -2S60		60					

※ 最大昇降行程:30m以下

※ かご二方向出入口タイプもご用意しています（有償付加仕様）。

乗場インジケーター・かご内操作盤

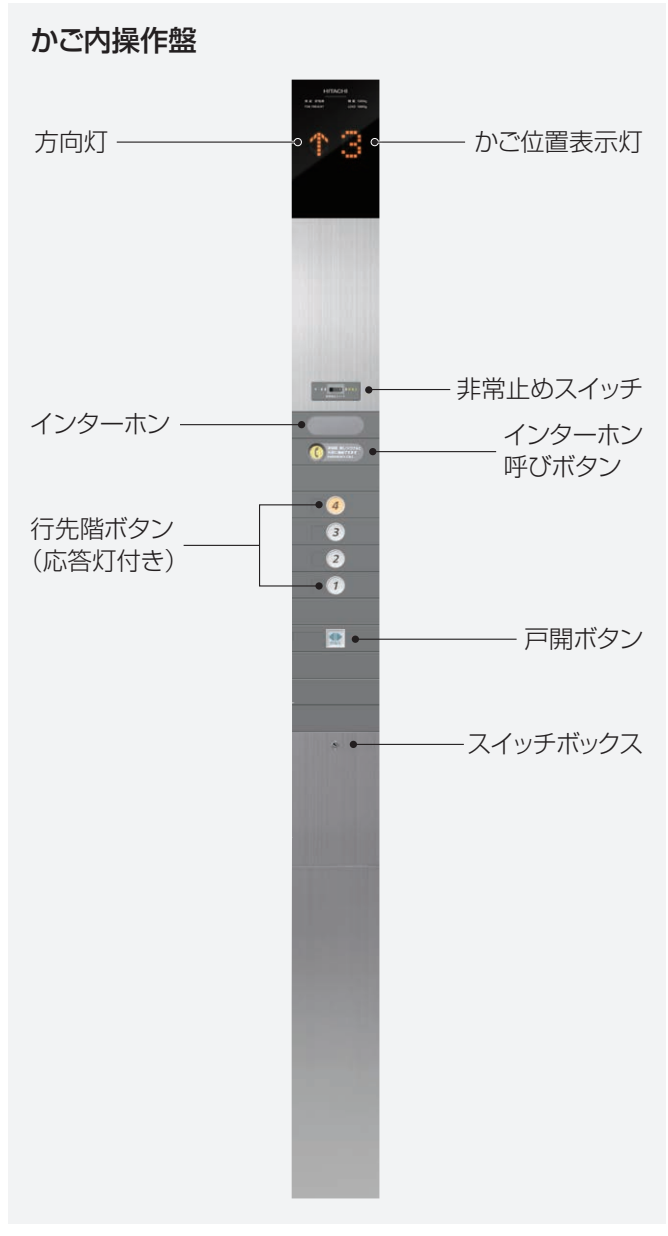


■ボタンスイッチコントロール

- 荷物用エレベーターの標準運転方式です。
 - 最初にエレベーターを呼んだ人が使い終わるまでエレベーターを専用利用できる運転方式です。
- 1) 乗場インジケーターの「呼」ボタンを押してエレベーターを呼びます。
 - 2) かごに乗り込んだあと行先階ボタンを押すと、ただちに戸が閉まり、運転が始まります。
 - 3) 使用後は乗場インジケーターの「閉」ボタンを必ず押して、次の使用に備えてください。なお、戸は防火上3分経過後ブザーを鳴らし、自動戸閉します。

■コレクティブコントロール（有償付加仕様）

- 複数の呼びに対して、かごの運転方向順にサービスする運転方式です。
 - 小口荷物を多階床にわたって運搬する場合に最適です。
- 1) 戸は5秒経過後、自動戸閉します。
 - 2) 所定時間内に荷扱いが完了しない場合は、かご内操作盤に設けられている「開延長ボタン」を押すことにより、最大3分まで戸開状態を延長することができます。



仕様一覧

○:基本仕様 ●:標準装備仕様 ◎:有償付加仕様

分類	仕 様	内 容	仕様区分
運 転 方 式	ボタンスイッチコントロール	最初にエレベーターを呼んだ人が使い終わるまでエレベーターを専用利用できる運転方式です。	○
	コレクティブコントロール	複数の呼びに対して、かごの運転方向順にサービスする運転方式です。	◎
管 制 機 能	初期微動感知地震時管制運転 (P-S波感知<リスタート機能付き>)	地震の初期微動を感知し、かごを最寄り階に停止させます。	●
	火災時管制運転	火災時管制スイッチの手動操作により、かごを避難階に停止させます。	◎
	自家発時管制運転	停電時に、自家発電源の供給を受け管制運転します。	◎
	停電時自動着床装置	停電時に、バッテリー電源でエレベーターを最寄り階へ運転させます。	●
	ビット冠水時避難運転*	ビットの冠水を検知すると、エレベーターが運転を休止します。	○
保 護 機 能	かご内停電灯 (バッテリー自動充電式)	停電時にバッテリーで停電灯を点灯します。	◎
	ネクストドライブ	エレベーターが着床した際に、乗場戸の敷居に物などが挟まり戸が開かない場合、次の階へ行って戸を開きます。	○
	同時通話方式インターホン	管理人室に親機1個、かご内に子機1個をそれぞれ配置し、かご内から管理人と話ができます。	○
	マルチビームドアセンサー	赤外線ビームで出入口のほぼ全高、全幅の範囲を検出でき、2次元にて乗り降りする荷扱者および荷物を検知すると、再び戸が開きます。	●
省エネ	かご照明の自動休止	所定の時間エレベーターが利用されない場合、自動的にかご照明を消灯します。	○
そ の 他	アフターメンテナンス	据付工事が完成して、昇降機のお引き渡し後、3カ月間、お客さまの使用状況に合わせた機器調整のための保守作業を行います。	○
	着床時行先階ボタン点滅機能	かごが目的階に近づくと、その階の行先階ボタンが点滅し、到着を事前にお知らせします。	○
	ドアリオープン機能	乗場ボタンを押すことにより、閉じかけた戸を再び開きます。(コレクティブコントロール適用時)	○
	軽故障時最寄り階着床装置	運転中に一時的な故障で停止した場合、安全装置が動作していない限り、最寄り階まで自動低速運転し、閉じ込め故障を低減します。	○
	過負荷検出装置 (乗り過ぎ防止警報装置)	戸が開いているときに、かご内の荷重が所定の値を超えた場合、警報を発して戸を開いたままにします。	○
	敷居溝幅10mm	敷居溝幅を10mmとし、手押し台車などを通りやすくしました。	○
	敷居間ギャップ10mm	かごと階床との隙間を10mmとし、手押し台車などがスムーズに乗り降りできるようにしました。(荷役質量500kg以上の場合は、一部30mmとなります。)	●
	荷役標準対応	一回の積み荷は500kgまでです。(台車含む。ただし、積載質量600kg機種は1回に300kgまでです)	○
	荷役特殊対応	一回の積み荷で積載質量の半分まで対応できます。(ただし、積載量1500kg、2000kg機種のみ)	◎
	床合わせ補正装置	荷物の積み下ろし作業中などに積載の変動を受け、ロープ伸縮が発生し、かご床の高さが変動して、乗場敷居との間に規定以上の段差が発生した場合に、これを検知して自動的に段差を補正します。	○
	荷すり	かご内側板の床面から1150mmまでの範囲にステンレス製の保護板を配し、荷扱い時の接触などによる側板の損傷を抑えます。	●
	エレベーター リモートメンテナンス用 インタフェース	運転状態の異常信号を当社の管制センターに伝送する「エレベーターリモートメンテナンス」用のインタフェースを装備しています。	○
	戸開き時間延長ボタン	[開延長] ボタンを押すと、戸開きを延長することができます。(コレクティブコントロール専用)	◎
	遮煙性能付きエレベーター乗場戸	エレベーターの乗場と三方枠、および乗場と敷居の隙間を気密材で密閉することで、エレベーターに遮煙性能を持たせます。(本仕様適用時、停電時自動着床装置および火災時管制運転が必要となります。)	◎

* 冠水検知時、エレベーターが最下階に停止している場合は、退避階に運転後休止します。

作業性を重視したシンプルなデザイン。
実用性重視の設計がすみずみまで息づいています。

意匠

■かご意匠

2枚戸片開き



■出入口意匠

2枚戸片開き



■基本仕様

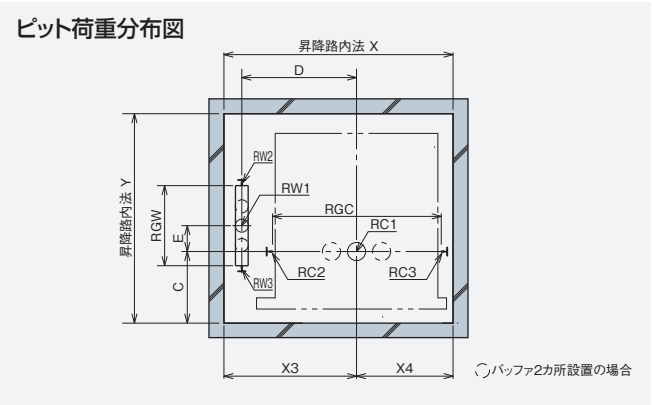
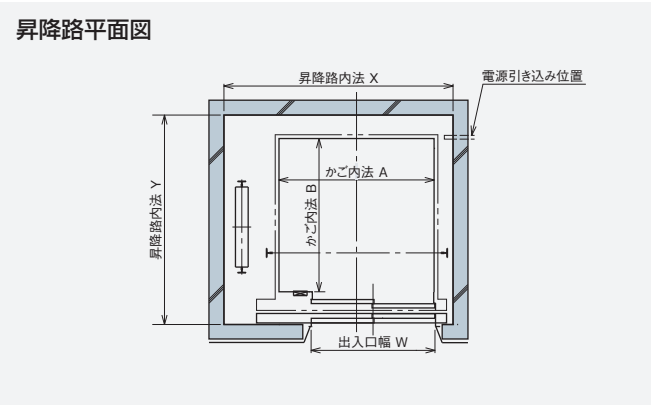
項 目	仕 様
戸 型 式	2枚戸片開き
天 井 側 板	化粧鋼板 (グレイッシュホホワイトまたはアルミナムシルバー)
戸	化粧鋼板 (グレイッシュホホワイトまたはアルミナムシルバー)
床	床用鋼板(縞目模様入り)
敷 居	硬質アルミ製
照 明	LED照明(乳白色アクリルカバー付き) ※ 積載質量1000kg以下は一面となります。
かご内操作盤	押しボタン式(ドット式LED) 操作盤上部にかご位置表示灯取付(デジタル表示) グレー調プラスチック製カバー

■基本仕様

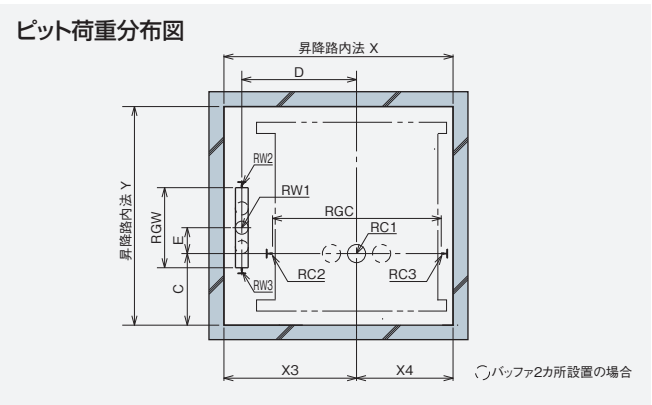
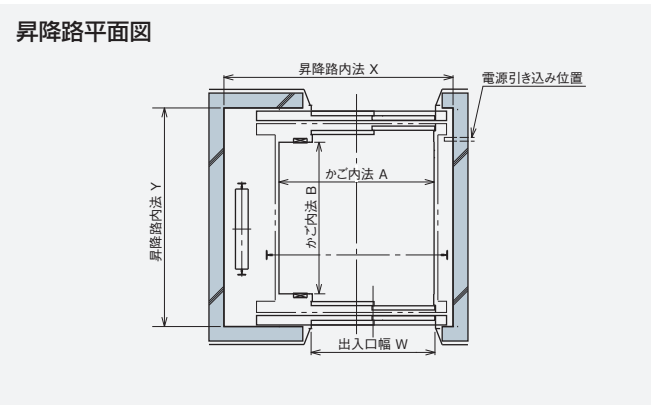
項 目	仕 様
戸 型 式	2枚戸片開き
三 方 枠	小枠鋼板単色塗装仕上げ
乗 場 戸	鋼板単色塗装仕上げ
敷 居	硬質アルミ製
乗場 インジケーター	縦型押しボタン組み込み(ドット式LED) かご位置表示灯組み込み(デジタル表示) グレー調プラスチック製カバー

据付図

■かご一方向出入口の場合



■かご二方向出入口の場合



寸法表

■寸法表

型 式	かご内法 A×B (mm)	出入口		昇降路内法 X×Y		オーバーヘッド OH (mm)	ビット深さ P (mm)
		幅 W (mm)	高さ EH (mm)	かご一方向出入口 (mm)	かご二方向出入口 (mm)		
OUF- 600-2S ₄₅	1300×1750	1100	2100	2150×2320	2150×2450	3250	1250
OUF- 600-2S ₆₀						3300	
OUF- 750-2S ₄₅	1300×2300	1100		2200×2870	2200×3000	3250	1250
OUF- 750-2S ₆₀						3300	
OUF-1000-2S ₄₅	1700×2300	1400		2600×2870	2600×3000	3250	1250
OUF-1000-2S ₆₀						3300	
OUF-1500-2S ₄₅	2200×2400	1700		3250×2970	3250×3100	3250	1250
OUF-1500-2S ₆₀						3300	
OUF-2000-2S ₄₅	2200×2800	1700		3300×3370	3300×3500	3250	1250
OUF-2000-2S ₆₀						3300	

※ 昇降路内法寸法はビット防水仕上げ後の有効寸法です。
※ 昇降路のコンクリート壁厚は150mm以上(仕上げを含みます)にしてください。また、同コンクリートの強度は21N/mm²(Fc21)以上確保ください。
※ 鉄骨造の場合は、昇降路平面寸法が広がる場合がありますので、当社技術員にご相談ください。
※ 昇降機耐震設計・施工指針(2016年版)耐震クラスA14の数値となります。S14の場合は、昇降路平面寸法が広がる場合がありますので、当社技術員にご相談ください。

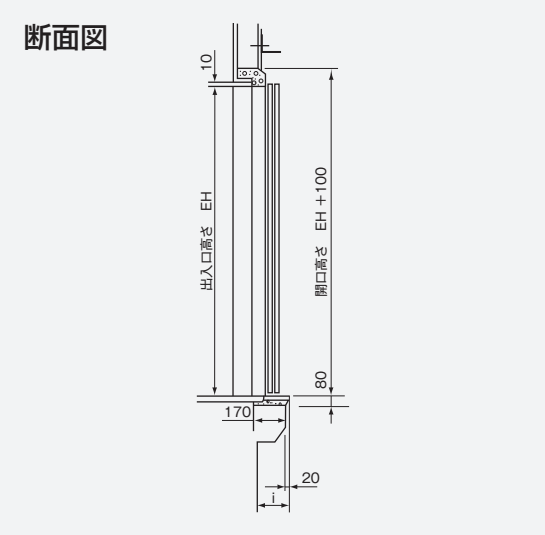
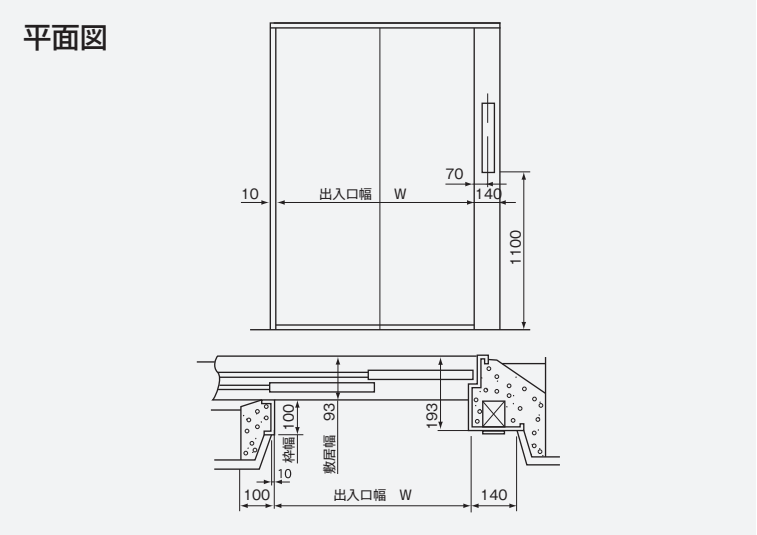
■ピット反力

型 式	位 置 (mm)									反 力 (kN)			
										かご側		つり合いおもり側	
										短期荷重 RC1	長期荷重 RC2	短期荷重 RC3	長期荷重 RW1
かご二方向出入口	OUF- 600-2S ₄₅	1245	905	1115	975	450	1460	550	63.5	24.5	24	52.5	36.5
	OUF- 600-2S ₆₀								78.5	24.5	24	65.0	36.5
	OUF- 750-2S ₄₅	1275	925	1395	975	500	1460	650	74.0	27.5	27.0	60.0	41.5
	OUF- 750-2S ₆₀								91.5	27.5	27.0	74.0	41.5
	OUF-1000-2S ₄₅	1475	1125	1395	1175	500	1860	650	90.0	31.5	31.5	71.5	46.0
	OUF-1000-2S ₆₀								112.0	31.5	31.5	88.5	46.0
	OUF-1500-2S ₄₅	1865	1385	1065	1615	425	2360	1250	62.5×2カ所	53.0	41	96.5	48.0
	OUF-1500-2S ₆₀								77.0×2カ所	53.0	41	119.5	48.0
かご二方向出入口	OUF-2000-2S ₄₅	1900	1400	1265	1670	425	2360	1550	77.5×2カ所	64.0	49.5	117.5	56.0
	OUF-2000-2S ₆₀								96.0×2カ所	64.0	49.5	145.5	56.0
	OUF- 600-2S ₄₅	1245	905	1205	975	450	1460	550	66.0	25.0	24.5	55.0	37.5
	OUF- 600-2S ₆₀								82.0	25.0	24.5	68.0	37.5
	OUF- 750-2S ₄₅	1275	925	1585	975	500	1460	650	78.5	28.5	28.0	64.5	43.0
	OUF- 750-2S ₆₀								97.0	28.5	28.0	79.5	43.0
	OUF-1000-2S ₄₅	1475	1125	1585	1175	500	1860	650	92.5	32.5	32.0	74.0	47.0
	OUF-1000-2S ₆₀								114.5	32.5	32.0	91.5	47.0
	OUF-1500-2S ₄₅	1865	1385	1265	1615	425	2360	1250	67.0×2カ所	55.5	43.5	106.0	51.0
	OUF-1500-2S ₆₀								83.0×2カ所	55.5	43.5	131.5	51.0
	OUF-2000-2S ₄₅	1900	1400	1465	1670	425	2360	1550	80.5×2カ所	65.5	51.0	62.0×2カ所	57.5
	OUF-2000-2S ₆₀								100.0×2カ所	65.5	51.0	77.0×2カ所	57.5

乗場詳細図

■2枚戸片開き(2S-2P)

(単位:mm)



■各部寸法

戸 型 式	積載質量(kg)	W(mm)	EH(mm)	i(mm)
2 枚 戸 片 開 き	600	1100	2100	115 (125)*
	750			
	1000			
	1500	1700		
	2000			

* かごニ方向出入口の場合を示します。

電源設備容量

■動力用電源200V級の場合(200~220V 50Hz,60Hz)

積載質量 (kg)	速度 (m/min)	電動機 容量 (kW)	建屋側 トランス容量 (kVA)	建屋側 MCB容量 (A)	動力用引き込み線 線太さ別最大引き込み距離CV-T線(m)						接地線 最小サイズ (mm ²)
					8 (mm ²)	14	22	38	60	100	
600	45	2.8	4	30	86	148	226	375	556	839	2
	60	3.7	5	40	71	122	185	307	457	689	3.5
750	45	3.5	4	40	74	127	193	320	476	718	3.5
	60	4.6	5	40	60	103	157	261	387	584	3.5
1000	45	4.6	5	40	60	103	157	261	387	584	3.5
	60	6.2	7	50	47	81	124	205	305	460	3.5
1500	45	7.4	7	50	41	70	107	177	263	396	3.5
	60	9.9	9	60	31	54	83	137	204	308	5.5
2000	45	9.2	9	60	34	58	88	146	218	329	5.5
	60	13	11	75	24	42	65	107	160	241	5.5

※ 動力用電源の建屋側MCBに漏電遮断器や漏電継電器を設置する場合は、「インバーター用または高周波に対して不要動作をしない製品」と指定してください。

■動力用電源400V級の場合(400~440V 50Hz,60Hz)

積載質量 (kg)	速度 (m/min)	電動機 容量 (kW)	建屋側 トランス容量 (kVA)	建屋側 MCB容量 (A)	動力用引き込み線 線太さ別最大引き込み距離CV-T線(m)						接地線 最小サイズ (mm ²)
					8 (mm ²)	14	22	38	60	100	
600	45	2.8	4	20	347	594	906	1500	2227	3359	2
	60	3.7	5	20	285	488	743	1231	1828	2757	2
750	45	3.5	4	20	297	508	774	1282	1904	2872	2
	60	4.6	5	20	241	413	630	1044	1550	2338	2
1000	45	4.6	5	20	241	413	630	1044	1550	2338	2
	60	6.2	7	30	190	325	496	822	1220	1841	2
1500	45	7.4	7	30	164	280	428	709	1052	1587	2
	60	9.9	9	40	127	218	332	551	818	1234	3.5
2000	45	9.2	9	40	136	232	355	587	872	1316	3.5
	60	13	11	50	99	171	260	431	641	966	3.5

※ 動力用電源の建屋側MCBに漏電遮断器や漏電継電器を設置する場合は、「インバーター用または高周波に対して不要動作をしない製品」と指定してください。

電源・電気設備

■動力用電源

エレベーターの良好な性能を維持するためには、P7に示す必要量を参照し、適性容量の設備を準備してください。

■照明用電源(AC100V,15A)

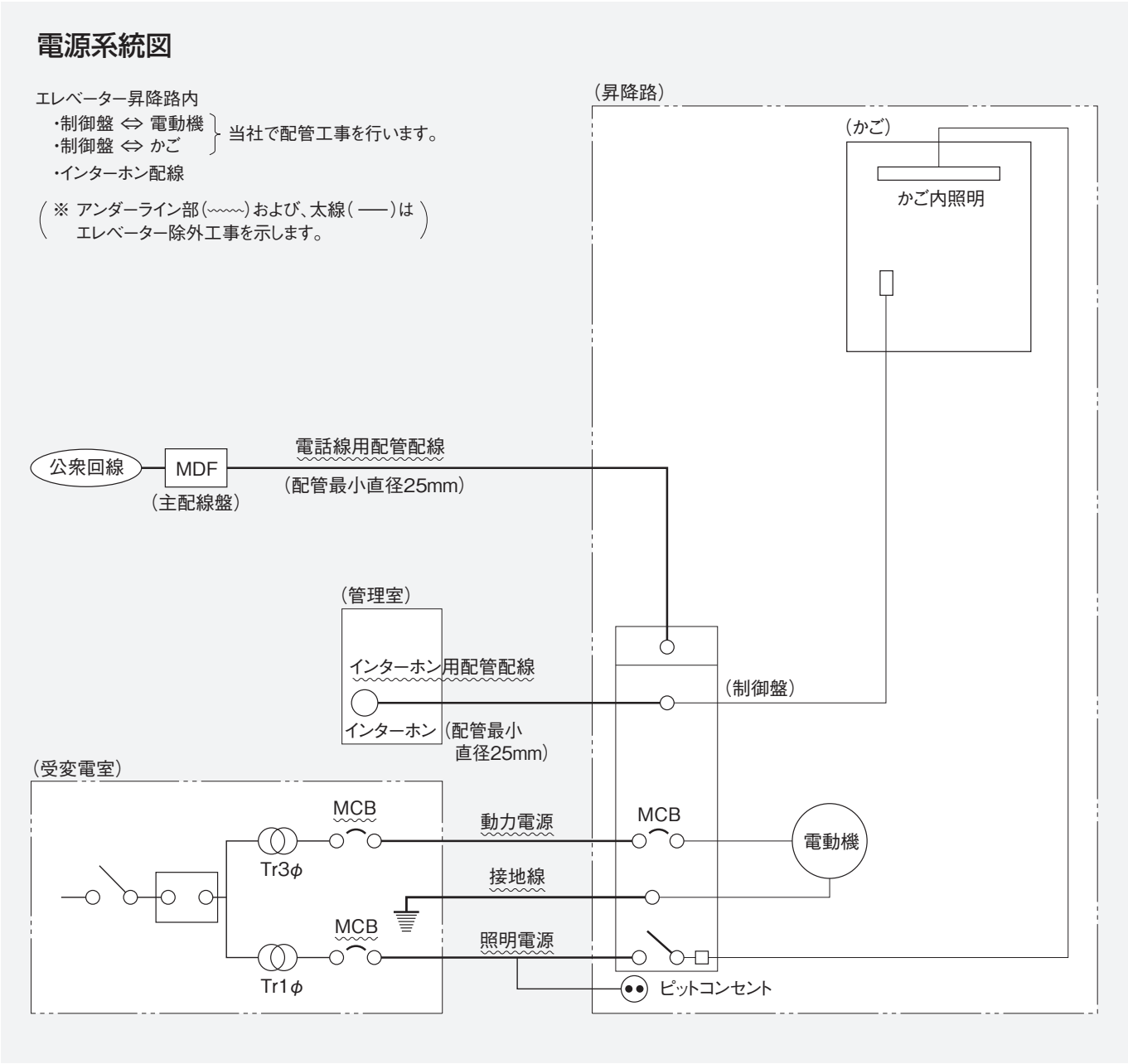
かご内の照明、かご上の保守作業用、インジケータの点灯などに使用します。
この回路は、他箇所の停電に影響されないよう、できるだけ独立回路としてください。

■インターホン

かごと外部の緊急連絡に必要な通話設備です。エレベーター昇降路内までの配管配線（除外工事）をお願いします。
配線数は、標準インターホンの場合1台につき7本、1台増えるごとに1本追加してください。
インターホン通話先（親器の取り付け位置）は、建築設計の初期に決定してください。

■ピットコンセント(AC100V,10A)

ピットで保守作業を行う際必要となります。最下階の出入口側床下に設置してください。



設備条件

区 分	No.	内 容
換気設備	1	昇降路内温度が40℃を超えないようにレイアウトしてください。もし超えることが予想される場合は換気設備を設置してください。
周囲環境	2	乗場が外気にさらされる場合には風圧を考慮した戸の開閉力の設定が必要です。 このエレベーターの基本仕様では、上記の対策が施されておりません。別途ご用意ください。
	3	出入口が屋外に面する場合、出入口まわりにひさし、水きりなどを設け、雨水が昇降路内に流れ込まないように十分に配慮してください。
	4	昇降路内温度は最低+5℃、最高40℃を維持し、湿度は月平均90%、日平均95%を超えないようにしてください。また、昇降路内外で著しい温度差が生じた場合、機器の結露による故障の要因となりますので、昇降路周辺の温度設定、管理には十分に配慮してください。
	5	腐食性ガス・爆発性ガスが存在する場所、危険レベルの放射線が存在する場所、多量の粉じんが存在する場所には、このエレベーターを設置できません。
電源条件	6	エレベーター制御盤受電端における電源電圧の変動は、±10%以内、電圧不平衡率5%以内に保つよう電源設備を設置してください。
建築基準法施行令にもとづく条件	7	昇降路には、エレベーター設備に関係のない設備を設置することはできません。配管、ダクトなどが露出しないようにしてください。

工事範囲について

下記の項目については、除外工事としてエレベーターの見積に含まれていませんので、建築および電気工事会社で施工していただくようお願いいたします。

区分	No.	除 外 工 事 の 内 容
建築工事関係	1	各階出入口まわり壁の穴開け工事およびその仕上げ工事（出入口、押しボタン、乗場表示灯用） ・コンクリート躯体誤差が25mm以上あるときは修正工事をしてください。
	2	各階出入口の敷居取り付け用かき込みまたは敷居受け床持ち出し工事
	3	昇降路間仕切りまたは中間ビームの製作および取り付け工事（必要な場合）
	4	エレベーター据付後の出入口壁および床その他建築補修仕上げ工事
	5	ピット内防水仕上げ工事 ・必要に応じて排水工事も含みます。ピット内仕上げ面の水平度は1/200以下としてください。
	6	ピットが深い場合の埋め戻し工事
	7	機器場重用吊りフックまたはトローリービームの昇降路への設置工事
	8	鉄骨構造の場合の三方枠、敷居、押しボタン、インジケーター等の固定用鋼材の設置工事
	9	鉄骨構造の場合のレール取り付け用ファスナー（各段）設置工事および機器場重用ファスナー（最上段）工事
	10	鉄骨構造、PC構造の昇降路では、各階のレール支持用形鋼設置工事またはインサート埋め込み工事
	11	鉄骨構造階の出入口機器と壁間の耐火処理工事
	12	鉄骨構造階における構造材の耐火処理工事
	13	昇降路と居室が隣接する場合の防音工事
	14	通過階がある場合の昇降路救出口設置工事
	15	併設されたエレベーターの最下階が異なる場合のピット間仕切り工事
電気工事関係	16	昇降路最下階の制御盤までの動力用電源（200～220V/400～440V）、照明用電源（100V）および接地線の引き込みならびに継ぎ込み工事
	17	ピット点検用コンセント設置工事
	18	昇降路から外部設置のインターホン、監視盤ほか、エレベーターに必要な配管配線工事
	19	リモートメンテナンス用として電話中継盤から昇降路内までの電話線用配管（最小直径25mm）配線工事
	20	昇降路頂部の煙感知器の設置工事
	21	火災時管制運転付きの場合の火災報知器接点の引き込み工事
その他確認事項	22	エレベーター部品搬入経路の確保（必要に応じてコンクリート穴開けおよび埋め戻し工事）
	23	エレベーター据付工事員現場詰所および材料置場の確保
	24	エレベーター据付用および試運転調整用電力の供給（動力用、照明用電源ともに本設電源配管経路で引き込み）
	25	昇降路内建築工事仮設床（水平養生）用の金網、デッキプレートなどの撤去工事
	26	エレベーター着工前までの各階出入口開口部の養生材および養生材設置工事

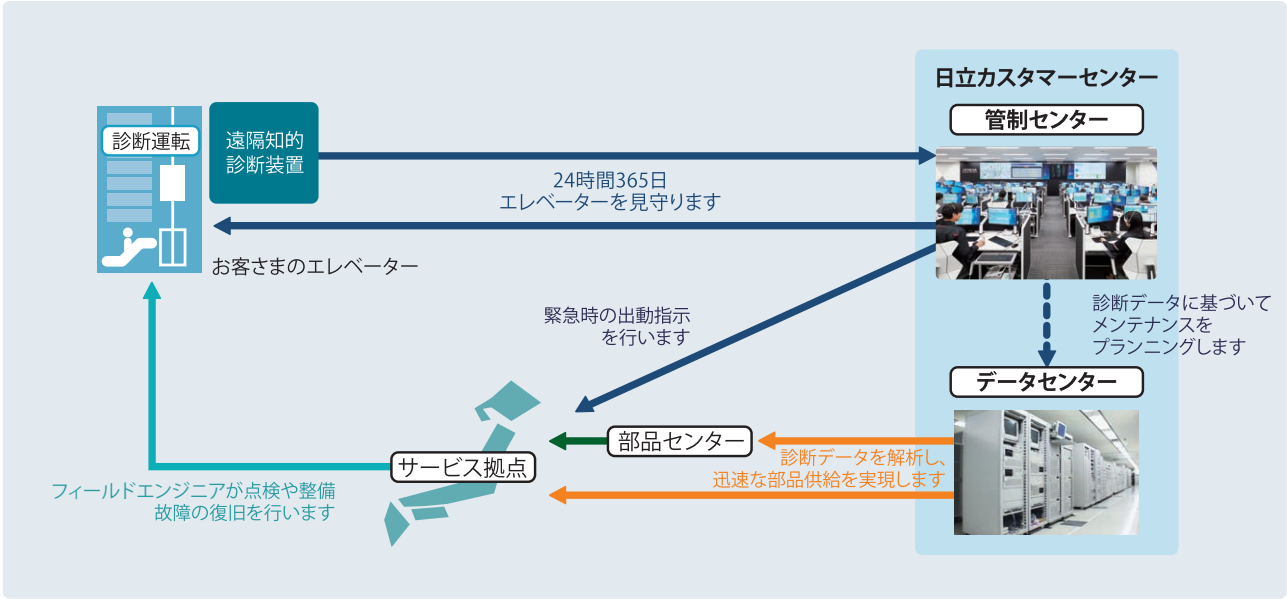
※ エレベーターを工事に使用する場合は別途ご相談ください。

スーパーヘリオスメンテナンス



利用者の利便性を最優先に考えるメンテナンス

各機器の機能や運行状況を24時間365日、遠隔で監視・診断するシステムと、
熟練したフィールドエンジニアによる保全技術を連携させたエレベーターメンテナンスです。



稼働データを個別に収集・解析することで、それぞれのエレベーターに最適な"予防保全"が可能になります。

いつも安全・快適にエレベーターを運行していくためには、何かが起こる前にその兆候を見つけて対処する"予防保全"という考え方が大切です。
エレベーター1台1台の稼働データを収集・解析することによって、それぞれのエレベーターに最適なメンテナンスを計画します。

遠隔監視診断 (24時間365日)

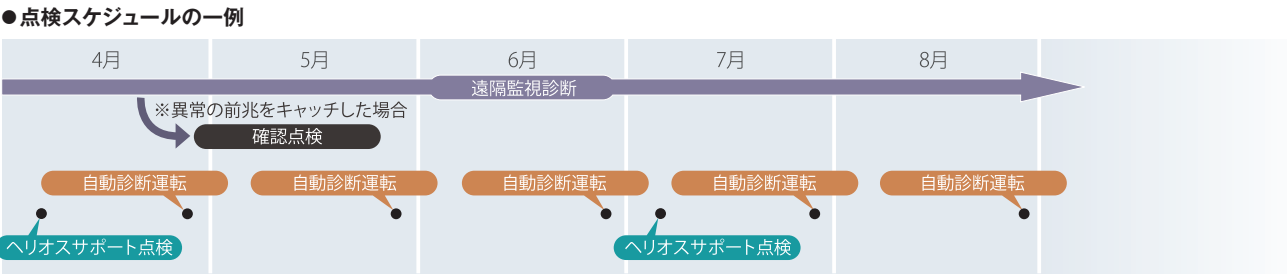
- 異常の前兆を常に監視
異常の前兆をいち早くキャッチするために、お客様のエレベーターを常に遠隔で監視・診断しています。

自動診断運転 (1回／1ヵ月)

- 基本性能を自動チェック
利用が少ない時間帯を使って、エレベーターのコンディション（基本運転性能）を自動的にチェック。点検結果はデータセンターへ転送され、点検履歴データとして蓄積されます。

ヘリオスサポート点検

- フィールドエンジニアによる精密点検
専門技術者の操作によって、精密診断運転を行います。診断結果は、データセンターに送られて、過去の稼働データ・点検履歴データと比較され、その変化値を分析することで、未来を予測した作業が可能になります。



万が一のトラブルにも、遠隔自動解析によって迅速な復旧対応を行います。

遠隔故障原因解析

故障時の運行データを自動的に収集・解析し、原因を突き止めてフィールドエンジニアに連絡。復旧時間の短縮を図ります。

遠隔軽故障復旧

故障時の運行データを自動的に収集・解析し、復旧可否を判定。部品の交換や調整を必要としない軽度の故障については、遠隔操作で仮復旧させます。

診断結果は、お客さまに分かりやすくご報告します。

自動診断運転の診断結果や、フィールドエンジニアによる点検の内容と結果は、メンテナンスレポートにてお客さまに毎回ご報告します。